

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
消防局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	2,687	3,454	▲ 767

※職員給与費を除く

2 主要施策

(1)令和7年度 予算編成の方針

消防局では、「市民の生命、身体及び財産を災害から守る」という使命のもと、火災や大規模災害時の被害軽減を図るため、消防車両の更新や人材育成等、消防体制の充実強化に取り組めます。

また、映像や体験型訓練を活用した火災予防対策の強化に取り組むとともに、消防団活動や市民防災活動への支援などを通じて、地域全体で災害対応力を高める取り組みを推進します。

さらに、令和6年の救急件数は、令和5年に続き過去最多を更新するなど、高齢化等による救急需要が増大しているため、救急車を増台するとともに、デジタル技術を活用した救急体制の充実強化に取り組む、災害に強い「安らぐまち」の実現を目指します。

(2)令和7年度「安らぐまち」の実現に向けた主要施策

○あらゆる災害に対応するための消防体制の整備

継続 常備車両更新事業 **392 百万円**

車両更新計画に基づき、常備消防の車両を計画的に整備する。

令和7年度は、指揮車や特殊災害対応自動車など5台の車両を更新する。



【指揮車】



【特殊災害対応自動車】

拡充 非常備車両更新事業 **111 百万円**

車両更新計画に基づき、非常備消防(消防団)の車両を計画的に整備する。

令和7年度は、消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ付積載車など8台の車両を更新する。



【消防ポンプ自動車】



【小型動力ポンプ付積載車】

- 継続**
- ・消防体制の充実強化
 - ・消防施設の整備 など

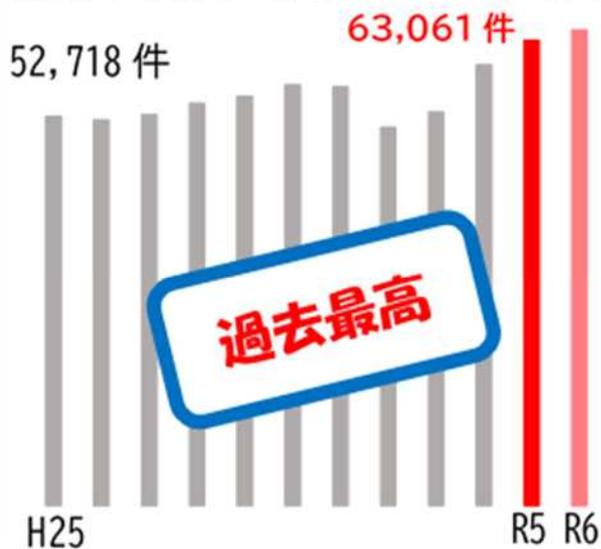
○救急体制の強化

拡充 救急需要増大に伴う救急車の増台事業 100 百万円

継続 救急車の更新事業 161 百万円

救急活動体制を強化するため、救急車4台の更新に加えて、新たに2台増台する。

救急出動件数の推移 64,863 件



継続 ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業 19 百万円

クラウドで病院と情報共有
時間が短縮し、すぐに治療開始が可能



救急搬送スピードアップ



救命率の向上



- 継続**
- ・救急救命士の資格取得
 - ・救急活動の質の向上
 - ・市民による応急手当の普及啓発活動の推進 など

○火災予防対策の強化

拡充 火災予防の推進事業

4 百万円

市民の防火意識を醸成するため、地域ぐるみの防火訓練や映像を用いた啓発活動を行うなど、効果的な火災予防の普及啓発を推進する。



【消火訓練装置を用いた訓練】



【デジタルサイネージを用いた防火啓発】

継続 ・防火査察の強化 など

○地域における災害対応力の向上

継続 ・消防団の充実強化

- ・いきいき安心訪問の推進
- ・市民防災活動への支援 など



3 主な事業

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

拡充 ・火災予防の推進事業 4百万円
市民の防火意識を醸成するため、地域ぐるみの防火訓練や映像を用いた啓発活動を行うなど、効果的な火災予防の普及啓発を推進する。

拡充 ・非常備車両更新事業 111百万円
指揮車1台を始め、普通消防ポンプ自動車4台、小型動力ポンプ付積載車3台の更新を行い、適正な消防力を確保する。

●暮らしの「安心」を支える

拡充 ・救急需要増大に伴う救急車の増台事業 100百万円
増大する救急需要への対策として運用する救急隊を増やし、市民のニーズに応えるため救急車を2台増台する。

継続 ・ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業 19百万円
患者情報を早期に医療機関と共有できる「患者情報管理システム」により、迅速な搬送を実施する。

継続 ・救急車の更新事業 161百万円
更新年限を迎える救急車4台を更新し、適正な救急体制を確保する。

継続 ・救急救命士の資格取得事業 15百万円
薬剤投与や気管挿管など、高度な処置が行える救急救命士を計画的に養成し、救急活動の質の向上を図る。

【問合せ先(全体に関すること)】

消防局 総務課
澤田(課長)、池田(係長)
TEL 093-582-3802